



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2014-2015 年度 No.34

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2014-2015 年度 会長 坂井彦就、幹事 岩崎 修

2014-2015 年度 RI テーマ



Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

(ゲイリーC.K.ホアン会長)

例 会 記 録

第 1 7 5 9 回例会

平成 27 年 3 月 4 日(水)PM0 : 30

よいとこ井波

1. 点 鐘
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. ゲスト：中谷信一氏(一般社団法人 全麵協 理事長)



5. 月結婚記念日：浅田裕二会員(11 日)中島眞市会員(18 日)三谷貴志夫会員(20 日)坂井彦就会員(24 日)小西勝会員(29 日)



6. 月誕生日：齋藤美華子会員(8 日)桧原やよい会員(28 日)・・・バースディソング



7. 会長の時間：中谷様ようこそお越しくございました。後ほど卓話を楽しみにしていますのでよろしくお願い致します。一週間の出来事ですが、3月2日にホテル旅館協会の全国組織北陸ブロックの役員会が金沢でありました。そこでも北陸新幹線の話で持ち切りでありましたが、新幹線の開業区間ではない福井県の芦原温泉の状況を聞きましたら、予約で一杯だと言って

おられました。その旅館は読売旅行さんの募集ツアーを扱っておられ、首都圏で募集しましたらあっという間に完売したそうです。我々の思った以上に北陸新幹線の効果があるのかなと思っています。和倉からも来ておられましたが、やはりかなりのお客さんが予約されているということです。我社は個人のお客様やグループのお客様が主体ですので、ネットで半分以上の予約がありますが、ネット予約は直近でないとうりません。3月14日はもちろん一杯ですが、それ以降も昨年よりもスピードがはやくなっています。役員会での雑談話ですが、来年は函館まで新幹線が開通するということで北陸新幹線の話は一年だけで次は北海道だよと言われる話はそうかもしれませんが、果たしてお客様はどうでしょう。北海道は北の端、九州は南の端、我々のところは日本の真ん中に位置しており、そして首都圏から近くなる。或いは東海北陸自動車道や能越自動車道が通っており非常に充実しています。北海道や九州に比べて大変近い。そのようなことから北陸は有利でなかろうかと思っています。

もう一点は、井波と庄川が共同で何かをしようということを書いてたと思いますが、地図がようやく完成しました。行政区が分かれてからは観光面で協力するということはありませんでしたが、両方の組合や協会から代表者が出て議論を重ねてまいりました。お金は折半ということですが、井波庄川を殆ど網羅したイラストマップの分かりやすい地図を作りました。理想としては四季のものを目指しておりますが、まずは第一版ということであります。3月6日にプレス発表しますので新聞等をご覧いただけたらと思います。現物はまた持参します。

8. 理事会・幹事報告(岩崎幹事)：①理事会報告。i：来週例会は3月9日(月)3RC合同例会です。午後6時より、砺波ロイヤルホテル。バスが、井波交通広場、午後5時半です。ii：第1回改組新日展富山展が、4月25日～5月17日開催、横山豊介先生より会員に招待券を頂きました。5月13日例会を鑑賞会に計画中です。iii：例会出席について、欠席の場合は事務局に必ず連絡をして下さい。最近、無断欠席が目立ち、昼食の無駄が出ています。ご注意ください。②3RC合

同例会の案内の配布を確認下さい。③例会の変更については、事務局に確認の事。

9. 出席報告(齋藤委員長)：本日、20名中メイク含む15名、75.00%です。

10. 委員会報告：①雑誌広報委員会(三谷委員長)：「ロータリーの友」早読み、今月は「識字率向上月間」です。入会当初は、言葉の意味がわかりませんでした。日本では読み書きが出来ない事は考えられませんが、多くの後進国では、まだまだ多いです。横書きに、それらの国への支援策「寺子屋」のニュースが載っています。また、横書37pに、「山椒は小粒でもぴりりと辛い」—小さなクラブにあふれる奉仕の心—として、いくつかのクラブの活動を紹介してあるのが目にまりました。それから、縦書きの9pには、「わがまちそしてロータリー」に兵庫県宝塚市が掲載されています。昔からの歴史と最近多くなった新しい建物が混ざっていて、両方に親しんでもらいたい希望が述べられています。北陸新幹線が開通しても、古き良きものに触れてほしいことに通ずる気がします。②社会奉仕委員会(中島委員長)：木彫刻訓練校5カ年、中学生の義務教育9ヶ年精勤賞の授与について、3日以内の欠席の精勤賞該当者が23名ありました。井波中に岩崎幹事、木彫刻訓練校と庄川中に坂井会長が出席して表彰状を渡してきます。

11. ニコニコBOX(SAA：本日9名)

坂井会長：結婚祝に感謝。もう30年。中谷さん、本日の卓話有難うございます。

小西会員：結婚祝に感謝。もう41年、一段と妻の重みを感じながらも、少しは感謝しています。

三谷会員：結婚祝に感謝。何年目か数える事が出来ない程です。今後とも宜しくお願いします。

中島会員：結婚祝に感謝。感謝感謝の43年。そろそろ世界一周…はできませんが、温泉くらいは！

浅田会員：結婚祝に感謝。すみません、早退します。

桧原やよい会員：誕生祝いに感謝。名前通り、3月生まれです。

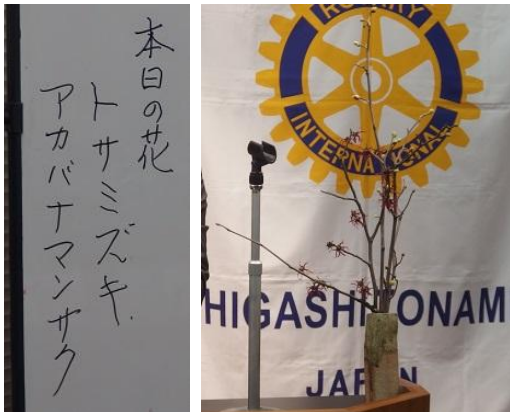
高瀬会員：久しぶりに例会に出席。新会員の長田さんの顔を見て、嬉しいです。所用で早退します。

河合会員：中谷さんようこそ。当クラブにご入会下さ

い。異業種の仲間も楽しいですよ。

中島会員：明日でした。

山本武夫 SAA：中谷様ようこそ。15 年程前に、ネパールに行ってきたばかりという時期に、カレンダーを頂きました。風景が素晴らしく大切にしています。



本日の花(河合会員提供)



卓話「全麵協の地域間交流及び地域振興」

中谷信一(一般社団法人 全麵協 理事長)

中島会員(紹介者)：中谷信一さんは、現在、一般社団法人全国麵類文化地域間交流推進協議会(全麵協)の6代目理事長を2013年(H25)から、されております。この組織は、平成5年11月に発足された団体だそうです。他にも、2003年(H15)国土交通省・観光庁の観光カリスマ百選に選定されておられ、カリスマの名称は「そばによる国際交流と村おこしのカリスマ」です。また、2007年(H19)より、内閣官房の地域活性化伝道師 及び 経済産業省の地域中小企業サポーターに委嘱されておられます。それから、2014年(昨年)からは、NPO

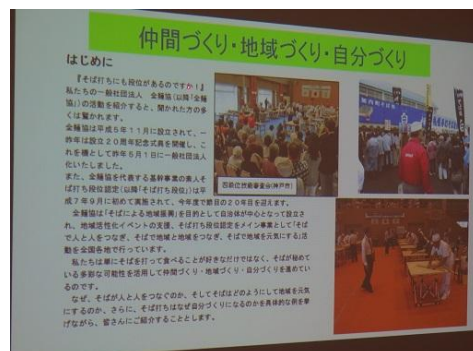
法人グリーンツーリズムとやま副理事長に就任され、自宅でも「みどりの広場」「有機栽培の野菜・花づくり」をされるなど忙しい毎日を送っておられます。本日は宜しくお願いします。

中谷氏：今ほどご紹介いただきました中谷です。今日はお招きをいただきありがとうございます。これから全麵協の組織や活動内容についてご紹介したいと思います。全麵協と申しますと全般的かと思われませんが、今のところ蕎麦に拘って地域振興を目的とした団体であります。まさにボランティア活動を行っている団体でもあります。《以下、スライドにより順次説明がある。》



1. 一般社団法人全麵協の組織と活動

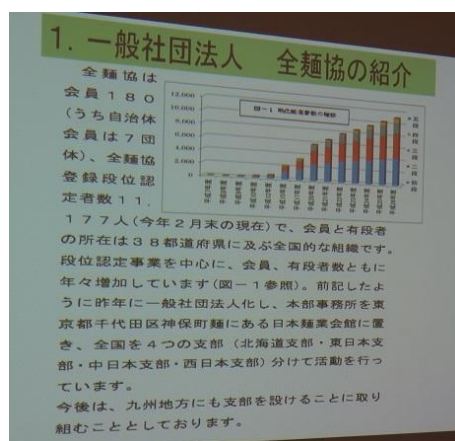
- ・ロシア、シベリア、ノヴォシビルスク市のそば圃場。
- ・ウクライナ、シベリア地方の土地は大変肥沃である。
- ・ドイツの軍隊が自国に持って行ったという話がある。
- ・仲間づくり、地域づくり、自分づくり、ということで活動を続けている。



・全麵協は平成5年11月に創立され、一昨年20周年を迎え、一般社団法人にしました。

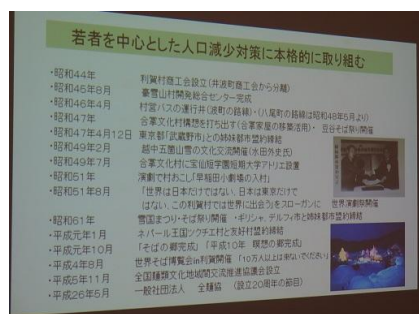
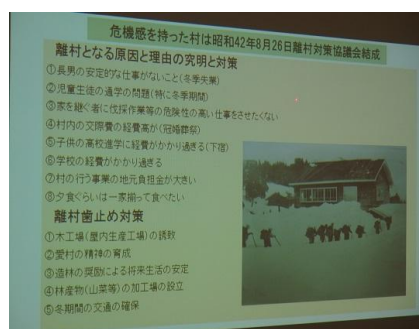
・素人の段位認定制度の活動を続けている。蕎麦による地域おこしをする場合、蕎麦を打てる人が必要となる。段位を目指すことにより、技術を普及させていく。ただ趣味だけでは地域振興に結び付かない。位を定めて行く中で、技

だけでなく蕎麦にかかわる様々な知識が必要。それは歴史であり、栄養学であり、栽培学など全て知識を身に付けていただき、技術も高めていただく。初段から5段までいく間に地域振興も合わせて学んでいく。4段から5段に行く場合に、どれだけ汗をかいたかということが、会員の中で認められなければ5段の受験資格がありません。極めてハードルの高い段位認定制度でなかろうかと思っている。全麵協の会員は約180名（殆ど団体会員）、現在の有段者は、11,777人である。



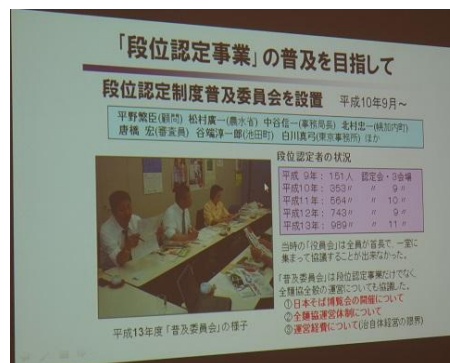
2. 全麵協発祥の地利賀村の地域振興の取り組み。

- ・危機感を持った村は昭和42年8月26日離村対策協議会を結成。
- ・魅力ある地方の創生。
- ・若者を中心とした人口減少対策に本格的に取り組む。
- ・演劇と並ぶ村の顔「そばによる村づくり」

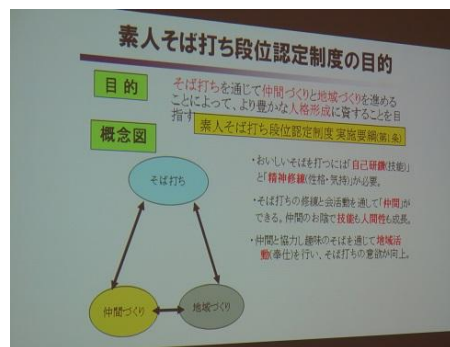


3. 全国麵類文化地域間交流推進協議会

- ・「段位認定事業」の普及を目指して。



- ・そば打ち教本…昨年11月に改訂版を出した。
- ・あなたの「そば道」の目的は？
- ・日本そば博覧会…各地で行っている。
- ・素人そば打ち段位認定制度の目的。



- ・越前蕎麦道場…「段位制度」はここで着想された。
- ・日本人の「価値観」と「そば道」。
- ・韓国平昌郡「そばの花の祭り」。



* 中谷信一さんの卓話内容・頂いた資料は、クラブのHPに掲載いたします。